



野方六月灯

あたたかな光に包まれました

7月16日(土)、照日神社において、16回目となる「野方六月灯」が、野方六月灯実行委員会の主催で3年ぶりに開催されました。

野方保育園、野方小学校、大崎中学校などから集まった255個の灯ろうが境内に並び、会場は優しい光に包まれました。来場者は、ご自身やお子さんが制作した灯ろうの前で写真を撮っていました。

実行委員の川原^{たつお}辰雄さんは「地域の方の協力をお願い開催できました。コロナ禍で2年途絶えていたので、にぎわいが戻ってほしいです」と話されました。



町内に住む外国人に 交通教室を実施

8月4日(木)、大崎交番周辺において、町内に在住し自転車を利用する外国人に対し「在住外国人向け交通教室」が開催されました。

これは、日常的に自転車に乗車する外国人に対し、交通ルールを理解や順守を徹底してもらい、地域住民との共生を図ることを目的としています。

参加者は、警察官から標識の意味やブレーキなどの乗車前点検方法などの指導を受けたあと、実際に道路で安全な乗り方の演習を受けました。



知事とのふれあい 対話が開催されました

7月18日(月)、町中央公民館において、塩田康一知事がテーマを設けずに県民と意見交換をおこなう「知事とのふれあい対話」が鹿児島県庁の主催で開催されました。

参加者13名からは、農業の振興や教育機会の充実、地域の活性化、特別な支援を必要とする子どもへの理解と支援などについて要望が出されました。

参加した荒武^{りな}里奈さんは「これまでの機会の中で一番意見を聞いてもらえたと思いました。意見に対し返答もあり、今後に期待したいです」と話されました。